



2020年3月

第297号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 並木 信一
副会長 花輪 宗命・久保田貞視
書記 多河敏子・長谷川あや子
会計 小口 多津子
直前会長 久保田貞視
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 重子・多河 敏子

国際会長 Jennifer Jones (オーストラリア) 主題 Building today for a better tomorrow スローガン On the MOVE!! 「さあ動こう!!」
アジア太平洋地域会長 田中博之 (東京多摩みなみ) 主題 Action 「アクション」
スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」
東日本区理事 山田敏明 (十勝) 主題: 勇気ある変革、愛ある行動!
副題: みんなで力を合わせて、1・2・3
あずさ部部长 赤羽美栄子 (松本) 主題: あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために!
クラブ会長 並木信一 主題: 誰かに、何かに、必要とされたい!

3月例会プログラム

【チャリティーコンサート】

日時: 2020年3月14日(土)1

八王子市北野市民センター 8階ホール

スプリングコンサート

第22回チャリティーコンサートはやむなく中止

14:00 開演予定 ~奈良原繭里リサイタル~

来年へつなげましょう。会長談話

3月第二例会 担当 A班

日時: 3月28日(土) 18:00~20:00

会場: 北野事務所小会議室

内容: 東京八王子クラブの近未来についての話し合い 会場の都合により中止となりました。



巻頭言

チャリティーコンサート開催中止 (延期) について

会長 並木 信一

3月14日に開催を予定した、東京八王子ワイズメンズクラブの第22回チャリティーコンサートを中止し、企画の全体を来年3月に移して、“延期”とすることにいたしました。言うまでもなく、新型コロナウイルスの地球規模の大流行に対応する措置です。2011年3月11日に発生した東日本大震災による、第14回チャリティーコンサートの中止に次ぐ措置となりました。

東京八王子ワイズメンズクラブの年間プログラムにおいて、地域に開いた、社会的に最も意義深く重要と自覚し、準備に取り組んできたチャリティーコンサートの中止(延期)は、チケットの頒布も進み、プログラムの作成も含め、全ての準備を

先月の例会ポイント (2月)

		BFポイント	
在籍	16名	切手(国内・海外)	0g
メン	13名	年間累計	560g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	81.3%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	8,650円
ゲスト	1名	累計	69,323円
ビジター	0名	オークション	0円
ひつじぐも	0名	累計	0円

今月の聖句 (2020年3月)

そればかりではなく、苦難をも誇りとしています。苦難が忍耐を生み、忍耐が品格を、品格が希望を生むことを知っているからです。この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

(新約聖書・ローマの信徒への手紙 5:3~5)

整えていただけないに真に残念な思いを残すものです。

しかし、春の全国規模の各種スポーツ大会の中止、学校の授業閉鎖、医療福祉従事者への過重負担によるサービス提供の危機、社会全体の経済活動の沈下により日常生活が立ち行かなくなる人が続出、7月の東京オリンピック開催の不安視等、新型コロナウイルスが世界中の人々の社会生活の根幹を揺るがす事態に、クラブのイベント中止を嘆くことすら憚られるような思いもいたします。しかし、いつかは収まり、日常は必ず戻ってくる、と信じて、捲土重来を期したいものと思います。

1998年に第一回を開催して以来、「地雷廃絶運動に取り組むJCBLの活動支援」と「東日本大震災被災者支援」を目的に掲げて開催してきた、東京八王子ワイズメンズクラブの過去21回のチャリティコンサートが積み重ねてきた支援寄付は、累計で“700万円”を越えています。小さなグループの働きではあってもこつこつと積み重ねれば本当に大きな宝を生み出すものだ、と実感できる数字と言えます。チャリティコンサートに並行して実施してきた街頭募金も含むこの金額の背後には、優に1万人を越える、善意のご協力者の存在のあることを思わずにはいられません。そして、感謝の思いに満たされます。

(それにしても、今年度は、10月12日に開催予定であったクラブ開設25周年記念例会の台風による無念の中止、そして、この度のチャリティコンサート中止(延期)と、年度の2大イベントが共に開催できなくなるのは……。 「ついていない」、と、不謹慎にもボヤキたくなる、のは私だけではないかもしれません。)

それでも、明るい明日は必ずくるのです。

第2回チャリティコンサート中止・延期の後始末

実行委員長 久保田貞視

当クラブ設立後4年目の1998年に第1回を開催して今年で第22回のチャリティコンサートとなります。

その間2011年3月11日に東日本大震災が発生し、その直後に開催予定であった第14回は中止し、翌年に第14回として開催しましたがその時は演奏家も変わっています。

今年1月に入り新型コロナウイルスが中国で感染者の増大が報じられていましたが日本としては当初は深刻には考えませんでした。しかし、屋形船やクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号乗船者に感染者が増加し、その後、国内でも感染者が増大したことより、国・都市とも密閉したところでの多数の集まりを自粛するような要請が出て、八王子市も同調し、3月からは市関係の会場の使用を禁止するようになりました。

その直前、当クラブは2月29日に緊急会議を開催し、コンサート中止・延期を決めました。これまで

会場の手配、八王子市の後援取得手続、チラシ・ポスターの作成、チケットの販売などほぼすべて完了している時点での突然の中止は極めて残念です。

今回は、中止としましたが、来年度に延期の方向で演奏家の同意を得て同じプログラムで開催出来ることになり、販売したチケットは返金しますが、同じチケットで来年も入場可能にしました。

ワイズとか連絡できる知人には既に連絡済みで、多くの方からは寄付の申し出があり大変感謝しています。しかし、チケット所有者で連絡できない方もおり、3月14日当日、クラブメンバーは会場に集合し、寒く雪の降る午後数人の来訪者にチケット代金を返金しました。チケット代金から必要経費を差し引き残金についても来年度のコンサートの終了時に決算して決めることにしました。クラブの皆さまも本当にお疲れ様でした。来年はまた、One for all, All for one. One teamで頑張りましょう。

卒業記念を祝して！

ヘンリ・ナウエン「父になること」の考察

4年 原部佑基

今、自分の手元にはヘンリ・ナウエンという哲学者でありカトリック教会の司祭でもある人物が書いた『放蕩息子の帰郷(父の家に立ち返る物語)』という一冊の本がある。この本は自分自身の価値観や人生観といった認識をより深めてくれることを助けてくれた。認識は本当に大切だと常々から思う。三島由紀夫の『金閣寺』にある「認識が変われば世界が変わる」という言葉を、過去に何度も語った程に自分は生きる上でそれを重んじている。

一部の人も知っている通り、自分はその学部生時代にカトリック教会に通うようになった。2回生の夏に、それまでの自分の認識では解決不可能な問題に直面したことをきっかけに、自分はそれまで無関心であった宗教という要素に着目することになった。教会に度々足を運び、礼拝に参加し、司祭や神学生、他の信徒から勧められる本を読むうちに、自らの認識を客観視する方法とその鍛錬の仕方を知ることができ、解決不可能なその問題への対処の仕方も学ぶことが出来た。

しかし、自分自身に対してどこかの教会に足を運び、宗教という要素に初めて本気で向き合うことを後押ししてくれたのは他でもないワイズやYMCAの人たちだった。聖書研究や学生同士の集まりの場で、彼らは自分を力強く説得してくれた。彼らの多くはプロテスタント系の教会だが、カトリック教会に通う自分は今でも彼らに本当に感謝している。

2013年3月の時も自分は相応に悩み苦しんでいたが、その時に宗教という要素に本気で向き合っていたらと思うと非常に惜しい気持ちになる。その時に力を入れていた一人旅よりも、より強力により深く自分の認識を変えることが出来たからだ。そして、当時の自分と同じように、能力や周りからの評価、自分の過去などに悩み苦しむ人間が目の前にいたら、自分がかつて自分を支えてくれたワイズやYMCAの人たちに倣いたい。それが、この手元にある本の言う「父になる事」の意味の一つだと今は考えている。

卒業記念を祝して！

ひつじぐも卒部を迎えて

卒部生

須郷利貴

「卒業」という言葉で想起される、私の一番好きなスピーチがあります。それは、Appleの創業者であるスティーブ・ジョブズ氏がスタンフォード大学にて行った「伝説のスピーチ」と呼ばれるものです。以下は、そのうちの一節を和訳したものです。

「未来を見て点と点を繋げることはできません。点は過去を振り返ったときに初めて繋がるものなのです。だから、その点がどうにかして将来繋がると信じるのが大切です。あなたの根性、運命、人生、因縁、何でもいいんです。何かを信じなければいけません。やがて「点と点は繋がる」と信じることで、たとえそれが他の人達とは違う生き方をする事になるとしても自分の心に素直に生きる勇気が湧いてくるのです。そしてそれこそが、あなたの真価を発揮させてくれるのです。」

私は今までの人生の中で、過去が現在と繋がっていると強く実感しているとともに、それは自分自身の選択の結果であると信じています。それは、中央大学への入学、ひつじぐもへの入会、YMCAとの出会い、東京八王子ワイズメンズクラブの皆様との出会い、台湾でのIYC参加、英語・中国語の勉強、委員長への就任、高雄へのSTEP…枚挙に暇がないですが、自分を信じて他人の人生と異なる生き方を選択し続ける勇気の源になったのは、このスピーチの影響があります。そしてその選択の結果、満足のいく大学生生活を過ごしてきたのは言うまでもありません。自分のやりたいこと追求し、いつかそれが経験となって将来に生きる信じて生きていくこと、そのことを今後も継続していきたいです。

最後になりましたが、大学生活において貴重な経験を共にしたひつじぐもの先輩・同期・後輩といった方々との出会いに感謝するとともに、公私共に多大なご支援をいただき

ました東京八王子ワイズメンズクラブの皆様へ深い謝辞を述べさせていただきます。4月より八王子市民となる私ですが、微力ながらもご協力できることがあれば何なりとお申し付けください。本当にありがとうございました。

高尾わくわく便り

館長 古市 健

先月の本稿にて、1月をボトムとして2月3月と徐々に宿泊者が多くなるとの表現をいたしました。実際に2月はおおよそ2,000名、3月はおおよそ3,000名のご宿泊の予約が入ってもしました。しかしながら、今や全世界に影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染への危惧によって、多くのお客様が止む無くキャンセルをご決断し、その連絡を日々に何件も何件も受ける日が続くこととなってしまいました。2月の宿泊者数は結果的に1,500名を割り込みました。就職を控えた大学3年生が就職について学ぶ2泊の研修が直前にキャンセルとなってしまった影響が大きく出ました。また、3月に至っては3,000名の予約が本稿を執筆している時点で700名近くにまで減少、この2月3月の2ヶ月だけで実に2,500名を優に超えるキャンセルが発生したことになります。更には年度を跨いだ4月から7月の予約までも影響が開始しており、次年度も既に3,000名近いキャンセルが発生し、このキャンセルの波は、鎮静化してはきたものの、未だ断続的に続いており終息が見通せない状況にあります。先日も、15年のお付き合いとなる専門学校の方がご来館になり、4月の予約のキャンセルを承りました。事務的な手続きを終えた後、先生から、いつも利用しているわくわくビレッジで今年も新入生研修をやりたいかったが、今年この状況を踏まえ、断腸の思いでキャンセルをすること、次年度以降は、またわくわくビレッジを使いたいことなど、ありがたいお言葉をかけていただくことができました。キャンセルが続く今の状況は、当館にとって非常に厳しい状況であります。しかしながら、この先生がかけて下さった言葉を胸に、引き続き前を向いて職務にあたる所存です。



西東京センター便り

館内の梅の花

西東京センター 館長 中里 敦

2月からは新型コロナウイルスの話題ばかりです。おそらく多くのプリテンでも取り上げられているのではないのでしょうか。西東京センターだけではなく、東京 YMCA、全国の YMCA もこの課題と向き合っています。3月の自主プログラムはほとんどが中止となり、会議や集会も必要最小限に留められています。おかげで？予定で埋まっていたスケジュールが無くなりすっきりしました。時間に追われない仕事に、こんなことは働いてから初めてのこともかもしれません。そのような今回の新型コロナウイルス対応では YMCA が行っているプログラムを見つめなおす機会にもなった気がします。様々な自主プログラムを中止にした一番の理由は子どもたちの安全、安心を守ることです。それに加え春のスキーキャンプを中止にした大きな理由があります。それは、実技リーダートレーニングが3月の中旬に予定されていましたが、この実施は難しいと判断しました。トレーニングを十分に行えない中で YMCA のキャンプは実施できないとの考えです。この決断の時、リーダーもただ集めればよいわけではなく、子どもの成長に関わる重要な役を担うリーダーの重要性、そこが YMCA クオリティであると改めて感じました。

また、自主プログラムはほぼ中止となりましたが、保育園、児童館・学童、西東京でも行っている放課後等デイサービスは引き続き継続しています。学童は学校が休校となった3月2日から急遽朝からの預かりとなりその対応に追われました。そんな時、閉館になったスタッフやキャンプに行けなくなったリーダーたちが応援に行っています。そのような横のつながりを持てたことは良い機会となっています。

悪いことばかりではなく、このような時だからこそ良いこともあると前向きに向き合えればと感じます。

中大ひつじぐも便り

中央大学実習所係の大和田奈央

12月に八王子生活実習所のアトリエサークルにボランティアとして参加しました。主な活動は準備、手伝い、後片付けでした。風船やビニール袋を使って遊び道具を作ったり、大きな扇風機と細かく切った紙を使って紙吹雪を作りました。大きな工作や、紙吹雪など、普段では体験できない活動ができて、とても楽しかったです。作った大きな風船と一緒に遊んだり、紙吹雪を飛ばしたりした時に、利用者の方々の笑顔を見ることができ、私も嬉しい気持ちになりました。イベントは利用者の方々と触れ合い、自分自身も楽しむことができ、また前後の準備や片付けではしっかり力になれたと思うので、やりがいのある活動でした。

2月に、八王子生活実習所が主催する地域サロンに参加しました。地域サロンとは、休日の地域の障害をもった方々の余暇活動として

定期的開催されているイベントです。みんなでいちご狩りをし、お昼ご飯を食べることが主な活動内容です。ひつじぐもからは1人での参加だったのですが、参加者のみなさんや職員の皆さんが話しかけてくださり、とても楽しい1日でした。地域サロンには、幅広い年代の様々な人が参加しており、たくさんコミュニケーションがとれるイベントです。ボランティアという要素ではなく、自分も参加者として楽しめることがこのイベントの良さだと思います。楽しいことはもちろん、いろいろな方々と話すという経験としても自分にとって良い活動でした。

今月の聖句によせて (2020年3月)

今月のこの聖句を読むと、私は、星野富弘さんを思い出します。

星野富弘さんは、群馬大学教育学部保健体育科卒業後、中学校の教師となり、わずか2カ月後、器械体操の指導中に誤って墜落。肩から下がすべて麻痺、手も足もまったく動かないばかりか、感覚すら失い、9年間の入院生活。回復のないまま退院し、天井ばかりを見つめる日々が続きました。生きる目的も見いだせず、絶望的な生活の中で、僅かに動かすことのできる口に絵筆をくわえました。綴られた文字、描かれた絵は、まさに星野さんの生命そのものと思えるものです。

1983年、宇都宮で「星野富弘・花の詩画展」を実現しようという市民有志と共に、「詩画展」開催の許可を得るために、群馬県勢多郡にある、星野さんの自宅を訪問したことがあります。此の時、星野さんは37歳、5人ほどで訪問したのですが、私は最年少でも40歳でした。星野さんは、緊張する私たちに対して、スポーツマンらしくくだけた口調で気取らずに、自分のことは「オレ」と言い、快く詩画展開催を了承してくれました。YMCAが事務局をつとめて開催した「星野富弘一花の詩画展」は、会場を提供したデパートの催しとしては、これまでにない来場者を迎えることができました。

星野さんは、新約聖書のローマ人への手紙5章に出会い、「今のこの苦しみは、苦しみだけに終わることなく、豊かな人間性や希望につながっているというのである。私にはこの言葉自体がすでに希望だった」と書いています。その後、星野さんは前橋教会の牧師から洗礼を受けました。

報 告

<2020年2月第1例会>

▼日 時:2020年2月22日(土)18:00~20:00
▼会 場:北野事務所第会議室(担当C班)
▼出席:A班・小口・長谷川・中里・古市・並木(真)
B班花輪・久保田メン・久保田メネ・福田、並木メン、並木メネ、望月、C班・茂木・山本・多河・大久保・
ゲスト 野崎忠行(卓話者一元八王子地区町会自治会連合会会長・北條氏照まつり委員長)

例会プログラム:C班 山本、茂木、多河、大久保、辻司会 山本 英次
「TIME OF FAST」

●卓話「鉄道公安職員(鉄道公安官)から、新駅・八王子みなみの駅長へ」

卓話者 野崎 忠行氏(元八王子地区町会自治会連合会会長・北條氏照まつり実行委員長)

八王子クラブ関係

1. 西東京YMCAユースリーダー感謝会=「武蔵野・多摩」・「多摩みなみ」&「八王子」クラブ合同

日時:2月12日(水)於:西東京YMCA 久保田、長谷川、小口、花輪、中里、並木の5名参加

2. 街頭募金 3月7日(土)八王子駅北口階段下:午後1時30分集合、道路使用許可手続き-並木。

第22回チャリティコンサート 3月14日(土)

北野市民ホール メンバー9:30A.M.集合

3月第2例会(担当A班)3月28日(土)18:00~20:00 北野事意見交換―「東京八王子ワイズメンズクラブの近未来構想」(注)八王子市の規制により北野事務所が閉鎖されました。

3月第2例会28日(土)は、中止といたします。」

・4月第1例会 4月11日(土) *第2例会 4月25日(土) 担当B班

・5月第1例会 5月23日(土)担当C班 卓話者「コミュニケーションの心得」米長晴信氏(甲府2会員)

・あずさ部評議会ホスト 7月18日(土)13時~17時 「高尾わくわくビレッジ」に会場予約

C. YMCA・他クラブ・部・区等

・「東日本区 Change! 2022」シンポジウム: 日時:2月1日(土)13:00~16:30

・東京Y体育・保育学校:八王子クラブより6名参加 久保田、並木、花輪、長谷川、小口、中里

・あずさ部西早稲田評議会:2月8日(土)於山手センター出席:並木、久保田、長谷川、小口

・ひつじくも卒業生追い出し会 3月2日(月)19時30分 コロナウイルス発生の為に中止となりました。

・高雄港クラブ創立20周年慶祝大会:

2020年3月7日(土)久保田メン出席予定のところコロナウイルスのため延期となった。延期日程は未定。

・東日本区次期役員研修会 3月7~8日 於:東山荘 コロナウイルス蔓延状態の為に中止となりました。

・第23回東日本区大会 6月6日(土)ホテル日航ノースランド帯広(ホスト十勝クラブ)

・2020-2021「あずさ部評議会」7月18日(土)ホスト:東京八王子クラブ

<2020年3月第1例会

<第2回チャリティコンサート>

▼日時 2022年3月14日(土)13:30~

▼会場 八王子市北野市民センター8階ホール

▼目的 *東日本大震災被災者支援
*地雷廃絶運動支援のために

▼プログラム

*チャリティコンサート

ソプラノ 奈良原 繭里

ヴァイオリン 笹川 哲史

ピアノ 三浦 愛子

“全ての準備を整えて開催に備えておりましたが新型コロナウイルス感染防止のため、やむなく中止(延期)といたしました”

<街頭募金>

▼日時 2020年3月7日(土)14:00~

▼場所 JR八王子駅北口交番そば

▼目的 *東日本大震災被災者支援
*地雷廃絶運動支援 のために

“道路使用許可もうけておりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、やむなく中止といたしました。”

3月のお誕生日

古市 健さん	3月10日
茂木 稔さん	3月11日
長谷川あや子さん	3月19日
並木 雍子さん	3月19日
茂木 洋子さん	3月23日

<西東京センター 主な行事予定>

【3月】

新型コロナウイルスにより自主プログラムはほぼ中止となりました。

放課後等デイサービス PIT 国立と ASCA クラスのみ安全に留意しながら実施しています。